

環境経営の推進

第8次環境経営活動基本計画の策定にあたって



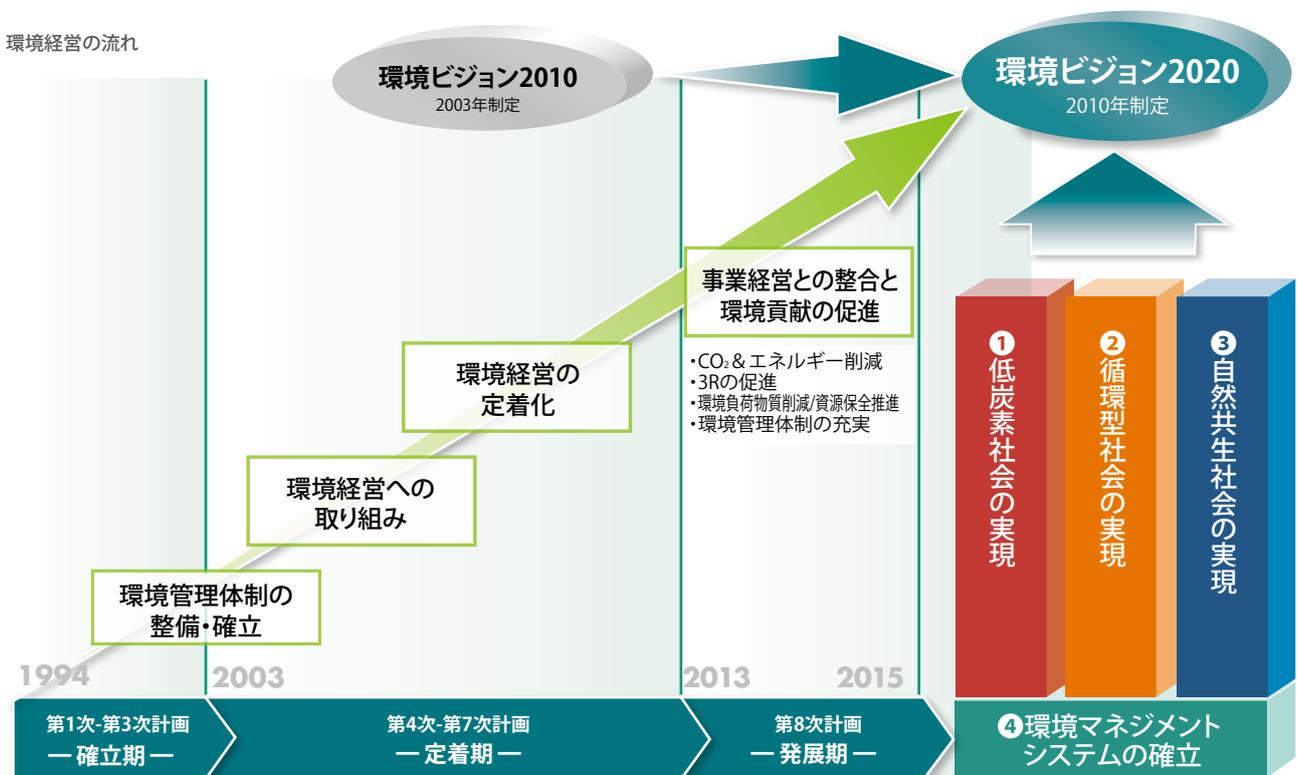
最高環境管理統括者
(執行役員 CSR推進本部長)
橋本 芳純

川崎重工グループは、グループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」のもとで、環境ビジョンについての2020年のあるべき姿を目指して、「環境ビジョン2020」を2010年度に制定しました。そのビジョンの実現を目指し、3か年ごとに基本方針と重点施策および具体的な目標を定めた「環境経営活動基本計画」を策定し活動しています。

2013年度は2015年度までを期間とする第8次環境経営活動基本計画の初年度となり、計画の策定にあたっては、同じく2013年度から2015年度を期間とする中期経営計画「中計2013」において「事業経営」に「環境経営」を整合させた基本方針を定め、これを実現する重点施策と目標を設定しました。

一方、2011年3月11日に発生した東日本大震災により、国内におけるエネルギーバランスが変わり、2013年以降の温室効果ガス削減目標もゼロベースで見直されるなど、持続可能な社会の実現に向けた新たな政策が策定されようとしています。このような状況の中で当社グループにおいても、社会の環境ニーズを先取りした施策、具体的には、エネルギー使用量とCO₂排出量の削減、3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）の推進、環境負荷物質の削減／資源保全推進を重点施策に掲げ、新たな目標に向かって取り組んでいきます。

また、海外の主要な連結子会社を含むグループ全体として環境管理レベルを向上し、サプライチェーンやバリューチェーンを俯瞰した環境リスクの低減を図るなど、環境ビジョン2020の実現に向けた着実な活動を展開していきます。



第8次環境経営活動基本計画(2013～2015年度)策定について

2013年度から2015年度までの第8次環境経営活動基本計画(以下第8次計画)では、「環境経営」と「事業経営」を整合させ、さらに環境貢献を促進する基本方針を定めました。これらを実現する重点施策と第8次計画目標を設定し、社会の環境ニーズを先取りし、省エネルギー・省資源化を加速します。具体的には、重点施策として、①低炭素社会の実現、②循環型社会の実現、③自然共生社会の実現、および④環境マネジメントシステムの確立の4つの課題に取り組み、環境ビジョン2020の実現に向けて着実な活動を展開していきます。

事業経営への整合と環境貢献の促進

重点施策

低炭素社会の実現 CO₂& エネルギー削減

循環型社会の実現 3Rの推進

自然共生社会の実現 環境負荷物質削減 資源保全推進

環境マネジメントシステム (EMS)の確立 川崎重工グループの環境管理体制 の充実

第8次計画目標

エネルギー見える化システムの活用

2015年度までに、年間のCO₂排出量およびエネルギー量を5%以上削減する。

製品貢献によるCO₂排出量の削減

累積値を当初各事業部門計画値以上とする。

廃棄物の3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)の推進

廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを堅持する。

PCB^{*1}処理の推進

高濃度PCB廃棄物および低濃度PCB廃棄物の処理を進める。

化学物質の削減

主要VOCは原単位で各年度とも第7次計画の実績平均以下とする。
ジクロロメタンは排出量を、重金属は取り扱い量を前年度比で削減する。

森林保全活動の継続

森林保全活動を年2回以上実施する。

国内本体および関連企業の環境マネジメント力強化

合理的な削減目標を設定し、適切にフィードバックする。

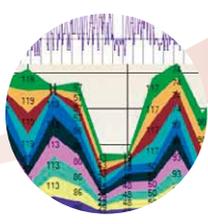
海外関連企業の環境マネジメント力強化

法規制その他要求事項を把握し、環境リスク低減を支援する。

*1 PCB:ポリ塩化ビフェニル

グループミッション
 世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する
 “Global Kawasaki”

2020年 川崎重工グループのイメージ



・CO₂排出量とエネルギー使用量
 大幅に削減
・製品貢献
 使用時のCO₂排出量を大幅に削減



・3R
 原単位で総排出量を大幅に削減
 リサイクル率97%以上
 ゼロエミッションを堅持
・PCB処理
 全ての処理を終了



・VOC
 原単位または総量で大幅削減
・重金属
 使用量を大幅に削減
・森林保全活動
 森林保全活動を継続



・EMSの構築
 川崎重工グループ全体で構築完了

環境ビジョン2020

低炭素社会の実現

エネルギーを無駄なく利用する製品とものづくりで、グローバルに地球温暖化防止に貢献

- ①2020年の温室効果ガスの排出量を、国の目標に合わせて削減している。
- ②エネルギーを有効に利用する製品・サービスを顧客に提供し、地球規模で温室効果ガスの排出を削減している。
- ③生産過程や物流過程における省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出削減を行っている。

循環型社会の実現

資源を無駄なく利用する製品とものづくりで、有限な資源を大切に活かし切り、循環させる

- ①資源を有効に利用する設計を推進し、製品の軽量化や耐久性・リサイクル性などの向上を推進している。
- ②生産活動での3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)を推進し、全工場のゼロエミッションを達成している。
- ③全てのPCB廃棄物とPCB含有機器の適正処理を完了している。

自然共生社会の実現

地球環境に調和した製品とものづくりで、環境負荷を下げ、生態系の保全に貢献

- ①大気汚染や水質汚濁を防止する製品・サービスを顧客に提供し、環境の改善や生態系の保全を推進している。
- ②製品への化学物質の使用を削減するとともに、生産活動での化学物質の使用を削減している。
- ③地域の森林保全活動など、生態系の環境を保全する活動に協力している。

環境マネジメントシステムの確立

環境ビジョン2020を実現する環境経営の基盤づくり

- ①国内外の全ての連結子会社が環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループ全体で環境経営を推進している。
- ②環境法令を遵守し、定期的な遵守状況のフォローを行っている。
- ③社内外へ環境情報を発信し、双方向の対話を持ちながら環境保全活動をしている。